

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

|             |   |       |         |
|-------------|---|-------|---------|
| 学 校 名       | 岐阜市立且格小学校   |       |         |
| 実 施 期 間     | 平成26年12月6日(土)   |       |         |
| 実 施 概 要     | ふれあい活動(12月6日)<br>① 避難所開設訓練<br>(2次避難所集合訓練・わが家の避難グッズ交流会・授業参観)   |       |         |
| 実 施 内 容     | 学習・取組の分野<br><input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他   |       |         |
|             | 公開の方法<br><input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等<br><input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他   |       |         |
| 来 校 者 数     | 保 護 者   | 388 人 | 計 468 人 |
|             | 地域関係者   | 約80 人 |         |
| 実 施 状 況     | <b>1 2次避難所への集合訓練</b><br>・保護者と児童が、1次避難場所(通学班集合場所)より、親子で2次避難場所である且格小体育館に避難集合した。<br>・避難途中の通学路の安全及び被害を防ぐための安全な避難方法を親子で確認しながら避難所に集合した。<br>・避難所では、自治会と連携し地区ごとに受付を行い、非常食体験、避難所体験を行った。<br>・その後、地区ごとに「わが家の避難グッズ交流会」を行い、家庭ごとに工夫の凝らされた「避難グッズ」を見せ合い、互いの工夫や取り入れたいアイデアなどを交流した。<br><b>2 授業参観</b><br>・避難所から各学級に分かれ、「わが家の避難グッズ交流会」で、<br>■避難所や、避難グッズ交流で感じたこと。(低学年・中学年・高学年)<br>■避難所の生活を知り、備える必要のあるもの(中学年・高学年)<br>■避難所の中で、地域の一員として何ができるのか(高学年)<br>について、話し合い、この体験を通して日頃の備えを考える機会となった。<br><b>3 家族下校による安全点検</b><br>・自治会長なども下校に同伴し、子どもを取り巻く地域安全の総点検を行っていった。 |       |         |
| 成 果 及 び 課 題 | <b>■成果及び課題</b><br>・避難所開設訓練の中で、「避難グッズ交流」を行ったことにより、保護者一人一人が、「備える」ことの重要性について考えることができ、防災意識が家族として高まった。<br>・各家庭に大きな意識の差があり、参加の姿勢にばらつきがあった。当事者としての意識を児童・保護者共にもたせていく指導が必要である。<br><b>■保護者からの感想</b><br>・避難所開設訓練で、他の家の避難グッズをみることができ、とても参考になった。<br>・避難だけの訓練は多いが、実際に避難所の施設を体験することができ、自分の問題として捉えることができた。<br>・地域企業による避難グッズの展示がとてもためになった。少しの工夫で、避難所の生活が変わるということが分かった。<br>・6年生は、地域の一員として自分の役割を考えていることに大人として感動した。<br>・近所同士で、避難や備蓄について相談しておく必要をあらためて感じた。   |       |         |